

授業科目	＊老年看護学実習(2023 年度入学生)						実務家教員担当科目	－			
単位	2	履修	必修	開講年次	0		開講時期	後期・前期			
担当教員	溝部 昌子										
授業概要	高齢者特有の健康課題とからだ・こころ・かかわり・暮らし・生きがいを総合的にとらえ、対象の「豊かな生」を支える看護を実践する態度・技術を実践的に学ぶ										
授業形態	対面授業				授業方法	臨地実習、学内実習					
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	1. 対象を多面的にとらえ、生活歴、病態と治療を関連付けて理解する 2. 対象の認知・知覚機能に応じてコミュニケーションを図り、関係性を構築する 3. 看護過程の展開により、高齢者特有の病態や看護問題に着目できる 4. 対象の生活機能と様々な背景を考慮して看護目標を設定できる 5. 対象の安全と安楽を考慮して、効果的な看護方法を選択し、計画できる 6. 実践した看護の評価、考察が行える 7. チーム医療の実践を通して、看護師の役割を述べるができる 8. 高齢者看護の実践における倫理課題について検討することができる 9. 対象の看護を通して、尊厳を守る行動がとることができる										
理想的 レベル	加齢性の心身機能の変化を踏まえ、高齢者特有の健康障害や療養上のリスクを理解し、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を駆使し、対象を理解することができる。看護問題について対象の意向や状況に応じて設定した看護目標を達成するために、様々なケア方法を検討し、実施することができる。また、その結果を評価できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物			100				0				
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	－	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	－
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
・ 高齢者及び対象の病態、治療、看護について事前に学修し、実習に望む ・ 臨地実習で見聞きたことは、学びの記録として日々の記録に示す ・ 実習記録や実践を通して、教員・臨地実習指導者より助言を受ける										0	
授業計画											
第 1 回	・ 学生 2-3 名で 1 名の患者を担当し、看護過程の展開、実践、評価をおこなう										
テキスト	・ 老年看護過程 照林社										

	・病期・発達段階の視点でみる疾患別看護過程 照林社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・ナーシング・グラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害 MC メディカ出版 ・ナーシング・グラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践 MC メディカ出版 ・看護学テキスト NiCE エンドオブライフケア, 南江堂
課題に対するフィードバックの方法	・日々の実習記録で学びの状態を確認します ・アセスメントや看護過程の記録は適宜提出し、アドバイスをもらいながら実習期間を通じてブラッシュアップしていきましょう ・対象者の体験している老いや病について、心を寄せられるような看護者を目指しましょう ・共に学ぶ仲間を大切にしましょう
学生へのメッセージ・コメント	・自身の健康管理に留意し、心身の状態を整えて実習に臨みましょう ・実習中に迷ったことがあったら、患者本位に考え、教員や指導者と共に課題解決に努めましょう